

「ひろしまデジタル フォレストネットワーク」 を立ち上げました！

総合技術研究所林業技術センター
林業研究部 副主任研究員 山場淳史

はじめに

さる平成24年2月17日に広島県三次合同庁舎にて「GIS・GPSを活用した森林作業道の路網計画研究会」が開催されました。

この研究会の具体的な内容や議論等については、当誌No.733（2012年4月）号のニューススクランブルにて既に報告されていますので、ここでは省略させていただきますが、その中でGIS・GPSや路網計画に関する情報を共有するネットワークを立ち上げる計画もある旨も紹介されています。

本報ではそのネットワークの役割や運用方法について説明させていただきます。

GIS担当者の現状は？

私自身の経験や聞き取りから、誤解を恐れず思い切って推察すれば、森林・林業関係部署・事業体でのGIS・GPS分野の主担当者（二十代から四十代くらいまでの若手職員・技術者が中心）は、大量煩雑な業務を抱えて孤独に日々苦悩している傾向にあるのではないでしょう

か（再現性のあるデータはありません。あくまで推察レベルです）。

この分野の業務に共通するのは、①少ない人員の中で特定の人が基本1人で担当している（逆に言えば他に担当できる人がいない）、②比較的特殊な専門性が求められる（逆に言えば他の同僚は業務内容を把握しておらず、上司・役員等にあつては本質的に業務を理解していない可能性もある）、③ハードやソフトの性能や機能に依存し、その動向を把握しなければならぬ（逆に言えば日進月歩の世界で常に情報収集をする必要がある）、④基本的に若い年齢層なので現場の仕事量は変わらないかむしろ多い（逆に言えば効率的に仕事をしないとやっつけられない）、⑤他機関との情報交換窓口になることが多い（逆に言えば業務外の仕事が多い）等…。

ネットワークの目的と経緯

そんな孤軍奮闘している（かもしれない）担当者たちが日常の業務の悩みや細かな疑問を解決でき、また日々変動するハード・ソフトに関する最新動向を把握することができるといったプラットフォームとしての情報交換ネットワークがあれば少しでも担当者たちの負担が軽減されるのではないかと感じていました。

上述した研修会には、そのような悩める担当者が集まる可能性が高いので、そのような趣旨のネットワークに共感して

もらえるかどうかを当日のアンケート調査票で質問したところ、「すぐにでも参加したい」「参加を検討したい」という回答が参加者の4分の3を超えました（図1）。

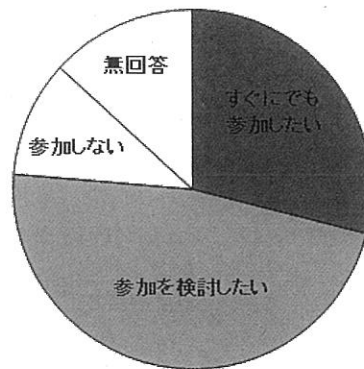


図1 ネットワークへの参加意向

そこで、とりあえずネットワークの第一歩としてメーリングリスト（以下、ML）を立ち上げる時にはすぐにでも参加してもよいとメールアドレスを記入いただいた方々を中心に、フリーのMLサーバーを使って立ち上げたのが「ひろしまデジタルフォレストネットワーク（以下、HDFN）」です。

メーリングリストの運用

MLとは、一定の基準のもとに登録・参加した人達（グループ）に同時に電子メールを配信する仕組みのことです。あらかじめ決められた代表アドレスに送信すれば、グループ全員に一斉に届きます。HDFN・MLの場合は、管理人に

よる招待を受けて参加の意思表示を返信することで登録される仕組みを採用しています。

またウェブサイトを經由すれば、これまで投稿・返信されたメールの内容を時系列に眺めたり、キーワードを検索したりできるので、簡易なデータベースとしても活用できるようになっています。

期待される役割と方向性

MLグループの中にはGIS・GPS分野の動向に詳しい企業の営業担当の方にも入っていたりするので、業界の最新情報の共有が期待されます。また、GISの操作方法についても実際に作業しながら質問することもできるとともに、グループメンバーがリアルタイムに助言をする場面等もありえると思います（個人的にはそれにより電話で個別に質問を受けて回答する手間を軽減できるかもという密かな期待もしています）。

MLの運用の過程で、例えば特定のGISアプリケーションの現場での活用方法や、GPSの性能比較等に関する勉強会を個別に開催しようという企画も生まれるかもしれません。事実、HDFN・MLでもそのような企画が案内された実績があります。このようにMLはあくまでネットワークのコミュニケーションツールではあるのですが、そこでの情報交換を契機にさまざまな取り組みが行える可能性が広がります。

さらに、このようなネットワークを基盤にして発展する可能性があるのは、「オープンソースGIS」の活用です。代表的なものはQuantum GISです。無償のアプリケーションにもかかわらず、GISに必要なほとんどの機能が含まれており、国内外のさまざまな分野の研究者やエンジニアや一般ユーザーのコミュニティ（日本ではOSGeoJP）による様々な機能の追加やプログラムの改良が進められています（小澤、2012）。そのためメニューやマニユアルの日本語化も驚くほど進められていて（図2）、初心者でも操作性は比較的容易だと思います。

またGPSデータの取り込みもメニュー化されており、GPSとリアルタイムで通信し測位情報を表示させることもできます。このシステムがあれば現場にノートPCやタブレット等を持ち出すことも全く支障ありません。

このように、外部の開かれた多様なネットワークとのつながりを持つて積極的に情報交換を行えば、ローカルなネットワークの中でもさらに技術レベルを向上させることができるとともに、個々の業務に対するモチベーションも高まるでしょう。

おわりに

最終的な理想の姿としては、コストをなるべくかけずに誰でも気軽に使える環境としてGISが構築され、GPS等の

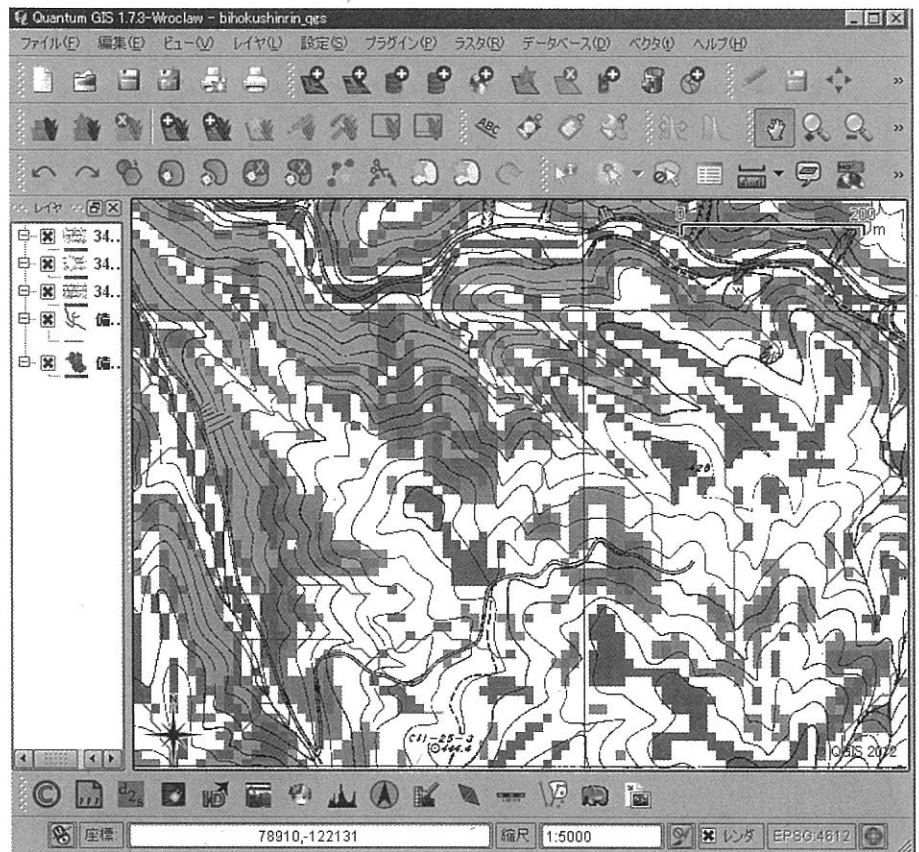


図2 Quantum GISでの表示例（路網計画策定レイヤ）

周辺機器によるデータも簡単に入出力・管理できるようになるとともに、困ったことがあれば気軽に聞けるネットワークが当たり前のように共有されているような状況だと思えます。今回のネットワークの立ち上げがそのような方向性に少しでも貢献できれば幸いです。

なお、メーリングリストの管理人は賀茂地方森林組合の児玉憲昭氏と私が担当

しています。現在20人程度のグループになつていますが、参加を希望される方がいらつしゃれば、個別に管理人までご連絡・ご相談ください。

参考文献

小澤洋一（2012）誰もが使える森林GISのために、森林技術838、

32～36



緑の募金 ご協力をお願いします!!

～緑の募金で東日本大震災の復興支援を!～
緑の募金は、森林の整備、公共施設の緑化などに活用され「県民参加のみどりづくり」の推進を応援しています。



公益社団法人 広島県みどり推進機構

〒730-8511 広島市中区基町10-52 広島県森林保全課内

TEL:082-513-4840 FAX:082-223-3583

URL:http://www.green-hiroshima.or.jp

e-mail:info@green-hiroshima.or.jp

